



2018年5月10日

各位

会社名 アステラス製薬株式会社
代表者 代表取締役社長 CEO 安川 健司
コード番号 4503
(URL <https://www.astellas.com/jp/>)
東証 (第一部)
決算期 3月
問合わせ先 広報部長 緒方 ステイグ
Tel: (03)3244-3201

Aquinox 社との後期開発プログラム Rosiptor に関する 独占的ライセンス契約締結

- 日本およびアジア太平洋地域の一部の国における Rosiptor の開発・商業化の権利を取得 -

アステラス製薬株式会社(本社:東京、以下「アステラス製薬」)は、Aquinox Pharmaceuticals, Inc.(本社:カナダ バンクーバー、以下「Aquinox 社」と、Aquinox 社が開発を進める新薬候補化合物である Rosiptor について、日本およびアジア太平洋地域の一部の国における開発・商業化に関する独占的ライセンス契約(以下、「本契約」)を締結しましたので、お知らせします。

Rosiptor は、ファースト・イン・クラスの新薬候補化合物であり、現在、Aquinox 社が北米および欧州において間質性膀胱炎/膀胱痛症候群(IC/BPS)患者を対象にした第 III 相試験を実施中です。IC/BPS は膀胱の痛み、および膀胱の不快感を伴い、頻尿などの非感染性の下部尿路症状を伴う疾患です。

本契約により、アステラス製薬は、日本および他のアジア太平洋地域の主要な市場(韓国、オーストラリア、台湾、インドネシア、マレーシア等。中国、インドは除く)において、IC/BPS を含むあらゆる疾患・症状に対して Rosiptor を研究、開発および商業化する独占的権利を有することになります。

Aquinox 社の President and CEO である David Main は、「アステラス製薬は IC/BPS に関するアンメットメディカルニーズや潜在的な市場機会を深く理解しています。また、同社は泌尿器領域における強固なプレゼンスや経験とともに、治療薬の商業化で数多くの実績を築いています。今回の提携により、アジア太平洋地域において Rosiptor の開発が加速され、商業的価値を高めることができると確信しています。」と述べています。

アステラス製薬の経営戦略担当役員である岡村直樹は、「Rosiptor は、SHIP1 の活性化という新規作用機序を有する新薬候補化合物であり、本契約はアンメットメディカルニーズの高い疾患領域において革新的な医薬品を届けるというアステラス製薬の戦略に合致するものです。これまでアステラス製薬は、生活の質を改善するための新たな治療薬を数多く創製してきました。この強みを活かし、IC/BPS に苦しむ患者さんへ新たな治療選択肢を提供するために、Rosiptor の開発・商業化を取り組んでまいります。」と述べています。

本契約に基づき、アステラス製薬は Aquinox 社に対し、契約締結時一時金として 2,500 万ドルを支払います。また、開発の達成に応じたマイルストーンとして最大 6,000 万ドル、商業化の達成に応じたマイルストーンとして最大 7,000 万ドルに加えて、Rosiptor の上市后、契約地域における売上に応じたロイヤリティを支払う可能性があります。

今回の契約締結に伴う業績への影響は、2019 年 3 月期連結業績予想に織り込み済みです。

以上

Rosiptor について

Aquinox 社のリード新薬候補である Rosiptor (AQX-1125) はファースト・イン・クラスの新薬候補化合物であり、1 日 1 回の経口投与で、炎症および炎症性疼痛に対する有効性を評価中です。Rosiptor は、PI3K シグナル伝達経路における作用を介して炎症を抑制する酵素である SHIP1 (SH2 ドメイン含有イノシトール-5'-ホスファターゼ 1) を活性化するという新規作用機序を有しています。395 例以上の被験者に Rosiptor を投与し既に終了した複数の臨床試験において、Rosiptor の忍容性はおおむね良好でした。

Aquinox Pharmaceuticals, Inc. について

Aquinox Pharmaceuticals, Inc. は、炎症および疼痛を特徴とする慢性泌尿器系疾患に対する新薬を開発している製薬会社です。Aquinox 社のリード新薬候補である Rosiptor (AQX-1125) は、現在、FDA によって承認された治療選択肢や有効な治療選択肢がほとんどない、慢性疼痛および泌尿器症状を特徴とした消耗性疾患である IC/BPS 患者を対象として第 III 相試験を実施中です。また、Aquinox 社は、炎症、炎症性疼痛および血液のがんに対する治療法を開発するために、SHIP1 を活性化する新規化合物ライブラリーを活用することに注力しています。

アステラス製薬について

アステラス製薬株式会社 (<https://www.astellas.com/jp/>) は、東京に本社を置き、「先端・信頼の医薬で、世界の人々の健康に貢献する」ことを経営理念に掲げる製薬企業です。既存の重点疾患領域である泌尿器、がん、免疫科学、腎疾患、神経科学に加えて、新たな疾患領域への参入や新技術・新治療手段を活用した創薬研究にも取り組んでいます。さらには各種医療・ヘルスケア事業との融合による新たな価値創出にも挑戦しています。アステラス製薬は、変化する医療の最先端に立ち、科学の進歩を患者さんの価値に変えていきます。

注意事項

このプレスリリースに記載されている現在の計画、予想、戦略、想定に関する記述およびその他の過去の事実ではない記述は、アステラス製薬の業績等に関する将来の見通しです。これらの記述は経営陣の現在入手可能な情報に基づく見積りや想定によるものであり、既知および未知のリスクと不確実な要素を含んでいます。さまざまな要因によって、これら将来の見通しは実際の結果と大きく異なる可能性があります。その要因としては、(i) 医薬品市場における事業環境の変化および関係法規制の改正、(ii) 為替レートの変動、(iii) 新製品発売の遅延、(iv) 新製品および既存品の販売活動において期待した成果を得られない可能性、(v) 競争力のある新薬を継続的に生み出すことができない可能性、(vi) 第三者による知的財産の侵害等がありますが、これらに限定されるものではありません。また、このプレスリリースに含まれている医薬品(開発中のものを含む)に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。